

第1回まちあるき（北国街道コース）
松ヶ崎堀割決壊前の北国街道に行く！沼垂と河渡・松崎地域の歴史探訪
参加レポート

開志専門職大学 剣持真心

私は、このたび新潟市「東区E産探求プロジェクト事業」として開催された、「第1回まちあるき（北国街道コース）」に参加しました。

今回は実際にまちあるきに参加して、感じたこと、気づいたことを記事としてレポートします。

まちあるき企画について

「まちあるき」は大形ちいき楽会ガイドのお話を聞きながら、一緒に東区を歩き、歴史を学ぶイベントです。



（左：まちあるきイベントのチラシ）

私が参加した第1回まちあるきは令和7年9月27日（土）午前9時30分から午後3時まで参加させていただきました。参加者は20名ほどで、東区に住んでいる歴史好きの方や神社・寺巡りが好きな方が多かった印象がありました。

ルート詳細

東区プラザ（東区役所）（集合）→【バス（10 分）】→沼垂定住三百年記念の碑→小唄勝太郎の碑→JR 信越本線跡（廃線）→法光院→悉地院（四国八十八カ所巡り）→沼垂白山神社→今代司酒造→【バス（4 分）】→一市屋（昼食）→【バス（12 分）】→大仏庵→大櫓（照覚寺）→大形神社→河渡共同墓地→薬師庵→藤戸神社→【バス（15 分）】→東区プラザ（東区役所）（解散）

印象に残ったところ

- ① 悉知院…四国に八十八カ所ある、平安時代に真言宗を開いたことで知られている空海ゆかりの寺院を巡る巡礼が、東区にある 1 つのお寺で巡礼感覚を味わえるところです。地面に埋め込まれた四角い石の上を歩き、1 から 88 までの数字が書いてあるところを歩くだけで四国の八十八カ所を巡った感覚を味わえます。それぞれの石仏の姿が違って、実際にその場所に行った気持ちになりました。



（左：八十八カ所お砂巡道、右：悉知院入り口）

- ② 薬師庵…東区で唯一の県指定文化財の薬師如来坐像のほか、漆塗りの仁王門や古い石塔があり、地元では、「松崎のお薬師様」として親しまれています。また、中に入っていくと、相撲場があり、その改修祝いの時には、地元の女性たちによる相撲踊りが披露されました。実際に土俵を見てみるととても堅そうで転んだら大変そうだなと思いました。テレビで見ている土俵より、高さが低かったと感じました！



(左：薬師院入り口の様子、右：かつての相撲場)

まちあるきに参加してみて

東区にこんなにもたくさんの興味深い神社や寺があったことを知り、もっと他の地域の人も訪れてほしいと感じました。住宅街に神社や寺が急に現れ、近所の人にとっては見慣れているところかもしれませんが、1つ1つの場所に意味があり、歴史深い地域だと気づきました。歴史の教科書に出てくるような人物も訪れていた神社もあり、歴史の重みを感じました。また新築の家が多いなと感じながら歩いていたのですが、馬が飛び込んだと言われる池があり、今とは違う景色が広がっていたということに衝撃を受け、たくさんの発見や学びがありました。この企画を通して、東区は普段生活している中に歴史が存在している地域があり、この歴史を受け継いでほしいと思いながら参加させていただきました。とても楽しいまちあるきでした！

最後まで読んでいただきありがとうございました！